

ほっとライン

加藤よし子議会通信

NO46

2008年4月1日

中札内村議会議員

加藤よし子

後援会会長 森 幹 次

雪がない！

どうしたのでしょうか？今年3月のうちから畑に雪がなくなりました。

灯油が高く、シバレル寒さを厚着でしのいでいたのですが、その分雪が少なかった冬でした。

この後の気候がどうなるのか心配です。

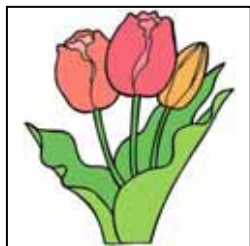
風邪が長引いている方もおられます。

皆様いかがお過ごしでしょうか？



祝新入学（園）

感謝



☆ 書き損じハガキ 306 枚寄せられました。

皆さんに呼びかけましたところ、306枚のはがきをいただきました。チェルブイリの子供たちの保養活動に寄付させていただきました。

☆ 新年交礼会に 48 名の方が参集下さいました。

2月9日に行いました、新年交礼会に多くの方々が集まって下さいました。皆さんからの支えを頂いて活動させていることを実感しました。本当にありがとうございます。

活動あれこれ

十勝林活議員連盟の

研修会に行きました。

2月21日十勝管内の議員で組織している林業を活性化するための組織（林活議連）の研修会があり、100名ほどの会員が集まりました。研修では、「から松のサトウ」の工場見学・「十勝産業振興センター」で生産技術視察・「松下電工」で生産施設の見学をさせていただきました。

初めて、木材加工の工場を見せていただき、から松加工技術の進歩と、製品の素晴らしさにビックリしました。



村づくり研修会

市街地活性化をテーマに東京大学堀教授の講演を聞きました。道・店舗など、人が心地よい空間作りの大切さを学びました。



住んでみたいな中札内村
行ってみたいな中札内村

4000 人の村づくり、顔の見える行政

3 月定例会の報告

予算審査特別委員会（委員長として）

予 算
か
ら

3 月定例会は、3 月 4 日から 3 月 17 日までの 14 日間の会期で開催されました。予算審査特別委員会は 11 日から 13 日まで審査を行いました。今年から特別会計に後期高齢者医療会計が加わりました。

三栄林産跡地
を宅地造成

三栄林産跡地約 5 畝を宅地分譲地として整備します。
20 年度はそのうちの 2.7 畝を整備、26 区画の分譲販売を行う
予定です。 1836 万円

高規格救急車
の配備

高度な救命措置が出来る高規格救急車を配備します。村では、
救急救命士の適正配置で、救命率の向上を目指します。
2136、3 万円

公共施設の耐
震化診断

昭和 56 年以前に建設された公共施設の耐震化診断を行います。
役場庁舎・村民体育館・公民館・保健福祉センター

通学合宿

小学校 3 年生から 6 年生を対象に、食事・買い物・洗濯・学習
などを学校に通学しながら、公民館で 1 週間の共同生活を体験
し自立心をはぐくみます。 3、7 万円

枝豆等販路拡
大推進事業

JA 中札内村が行う枝豆販売推進事業に対して 3 年間（20 年～
23 年）補助します。 150 万円／年

住宅火災報知
器購入助成

高齢世帯の火災報知機の設置助成を行います。対象者は、住民
税非課税の 65 歳以上の世帯です。 限度額 5000 円／戸

就学支援
所得制限あり
相談ください

☆ 高校生 交通費助成バス定期代の 1 / 2 以内 (12000 円限度)
私立学校授業料の 1 / 2 以内 (15000 円限度)

☆ 永井明奨学金 高校生 (高専) 30000 円 / 月額以内
大学生 (短大、専門学校) 50000 円以内 / 月額

3月議会で論議されました。

◎ 敬老祝い金条例の一部を改正する条例提案は否決

敬老祝い金条例は2006年3月定例会で喜寿・米寿・白寿の方に対してそれぞれ祝い金等を贈呈することとなったものです。(このとき、村の提案は、88歳・100歳の方に祝い金を贈呈するとしていたが、それではあまりに対象者が限定されるとして、多くの方が受けられるようにとして修正した経過があります)その後6月の定例会に、3老人クラブから条例案の是正を求める請願が提出されましたが、「敬老年金条例と、敬老祝い金条例との整合性を図らなければならない」とは認められないとして不採択としています。

また、昨年村長に対して対象者から是正を求める署名が寄せられましたが、村長は、12月定例会において、条例の是正は行わない、現条例での実施を続ける発言をし結論を出しました。

3月議会では、議員より是正を求める条例提案がなされましたが、採決の結果否決となりました。

村の敬老年金を受けられることを心待ちにしておられた方たちのお気持ちは十分理解できますが、敬老祝い金制度はまったく新しい制度であることをご理解いただきたいと思います。厳しい財政ではありますが、次世代育成支援や・産業活性化のための支援、また、今冬の福祉灯油事業など、皆さんの生活に直結する課題について今後更に将来にわたって元気ある村づくりのために、皆さんから頂いた税金の使い道については気を引き締めて検討していきたいと思っています。



請願



☆地域医療の確保に関する請願

総務常任委員会に付託され 採択

本会議でも採択され意見書として関係機関に提出しました。

☆道立試験研究機関への独立行政法人制度導入に反対する請願

産業常任委員会に付託され 不採択

本会議において採決の結果 不採択

理由 地方独立行政法人化への移行は、財政状況の厳しい北海道の行政改革の一環であり、このことによって試験研究機関そのものの存在自体が危ぶまれるものではない。

私は、この請願に対して賛成の発言をしました。独立行政法人化に対しては農業団体も慎重審議を求めており、基幹産業の農業に及ぼす影響が懸念されます。

村長にお伺いします。



一般質問

3月議会では5件について一般質問をしました。

1、村長の政治姿勢について

《加藤》 対話による村づくりを掲げているが、村長自ら積極的に村民との対話の機会を作るべきでは。また、職員の処分での対応で村民への説明が不十分なのではないか。

《村長》 あらゆる機会をとらえて、情報提供に努めたい。処分については、公表基準を策定して対応し、村政の透明化・信頼の回復を図る。

2、子育て支援について

《加藤》 保育の質的向上が望まれている、村の保育事業の検討状況は？また、村内高校生約100名の子供たちへの支援と、村とのつながりを深める手立ては？

《村長》 保育所では、食育に関する体験活動や、人権意識の啓発活動などを行っている。今後も研修を行い職員のレベルを高める。高校生との関わりが薄くなっているが、ボランティア活動の参加などを呼びかけている。

3、図書館のあり方について

《加藤》 利用が減っていると聞くが原因は？学習コーナーの設置や、インターネットの活用等の環境整備も必要ではないか。

《村長》 利用者減の原因は、利用していた方が村外に転出したことや、帯広図書館の影響が考えられる。学習コーナーなどについては検討したい。



4、男女共同参画基本条例について

《加藤》 基本計画策定の具体的検討内容とスケジュールは？

《村長》 基本計画については新年度に策定作業に入る。基本条例については、計画策定後に検討していきたい。

5、まちづくり会社の設立について

《加藤》 まちづくり会社設立には時間を要すると述べているが、設立に積極的に検討作業に入っているのか？

《村長》 コミュニティビジネスの展開について、より検討を進めるべきと考えている。

あ と が き

4月から75歳以上の方は、後期高齢者医療保険制度に加入することになりました。

村の国民健康保険財政も基金が底をつき厳しい状況です。

医療や、年金問題など、将来に対する不安が増しています。

村だけでは解決できない、国や、道の制度の壁は厚いですね。